

防災マップ想定条件



球磨川浸水想定区域（最大規模）とは

1

一般的に最大想定浸水区域と呼ばれています。
球磨川の場合、平成29年3月に九州地方整備局により発表されました。

2

昭和32年3月の諫早大水害クラスの大雨（1日で1,109mmの雨）が降った場合に球磨川流域ではどれ位浸水するかを想定したものです。

3

令和2年7月豪雨では、球磨川において1日で534mmの雨が降りました。

土砂災害警戒区域・特別警戒区域とは

1

土砂災害危険箇所を対象に土砂災害防止法に基づく詳細な調査を行い、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定（予定を含む）した箇所を掲載しています。

2

土砂災害警戒区域内では、警戒避難体制の整備等が図られます。また、宅地建物取引においては区域内である旨について重要事項説明を行うことが義務付けられています。
土砂災害特別警戒区域内ではさらに特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制、建築物の移転勧告等が図られます。

3

現在、順次指定を進めていますので、最新の指定状況については村、県の出先機関である球磨地域振興局、あるいは熊本県土木部砂防課にお問い合わせください。